

2018年8月3日

経済レポート

中部のインバウンド消費(2018年1-3月期)

～ 訪日客数が伸び悩む中、消費額は1-3月期としては初の500億円超え～

調査部 主任研究員 塚田裕昭

日本政府観光局(JNTO)「訪日外客数・出国日本人数」、観光庁「訪日外国人消費動向調査(2018年1-3月期:2次続報)」をもとに、地域別訪日外国人数、インバウンド消費額を推計した。

18年1-3月期に中部5県を訪れた外国人数は前年比-2.5%の80万人と推計され、やや伸び悩んでいる。

同期の中部でのインバウンド消費額は506億円と推計され、全国の消費額の5%程度を占める。1-3月期としては初の500億円超えとなった。

中部での一人あたり消費額(消費単価)は、6.3万円と推計される。

		2018年1-3月期	
			(前年比)
中部	訪日外国人数	80万人	-2.5%
	インバウンド消費額	506億円	+14.7%
	一人あたり消費額	6.3万円	+17.6%
日本全国	訪日外国人数	762万人	+16.5%
	インバウンド消費額	1兆1,121億円	+14.9%
	一人あたり消費額	14.6万円	-1.4%

(注1) 関西はMURCの推計値、全国は政府観光局、観光庁の公表値

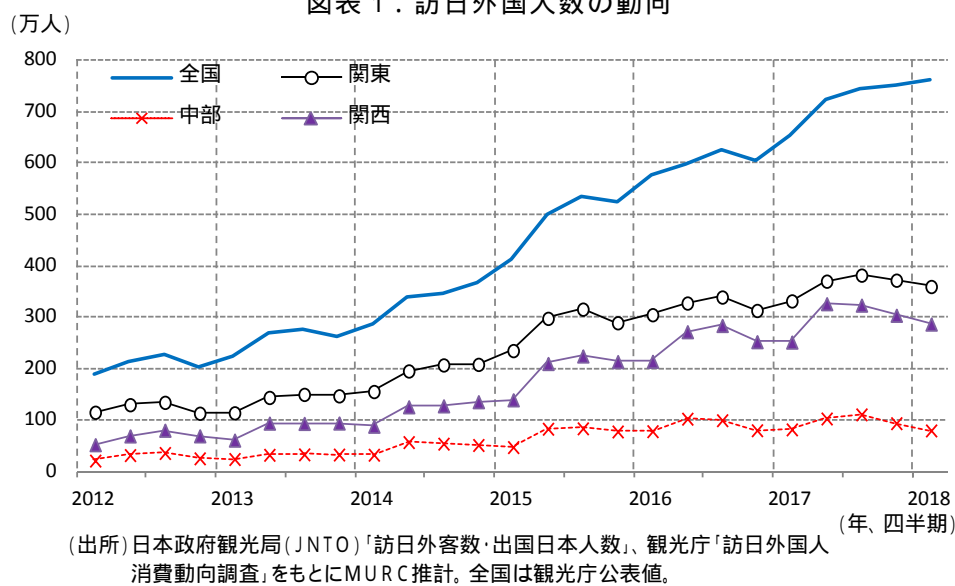
(注2) 全国の18年4-6月期の訪日外国人数は828万人、インバウンド消費額は1兆1,123億円(訪日外国人消費動向調査18年4-6月期:1次速報)。同期の地域別結果推計のための基礎データは、10月の2次速報で公表となる予定。

1. 訪日外国人数の動向

中部5県（愛知、岐阜、三重、静岡、福井）を訪れる外国人の数は、足下でやや伸び悩んでいる。日本政府観光局公表の訪日外客数（2018年1-3月期：762万人）に、観光庁「訪日外国人消費状況調査」の地域別訪問率を乗じて地域別の訪日外国人数を算出すると、18年1-3月期に中部を訪れた外国人数は80万人と推計される。中部への訪問率は10.5%と、訪日客の約1割が中部を訪れたが、訪日外国人数の伸び率は前年比-2.5%と18四半期ぶりに減少した。

2018年1-3月期に中部を訪問した外国人数を県別に見ると、愛知県52.7万人、岐阜府20.6万人、三重県3.7万人、静岡県24.7万人、福井県0.9万人と推計される。

図表1. 訪日外国人数の動向



(出所) 日本政府観光局(JNTO)「訪日外客数・出国日本人数」、観光庁「訪日外国人消費動向調査」をもとにMURC推計。全国は観光庁公表値。

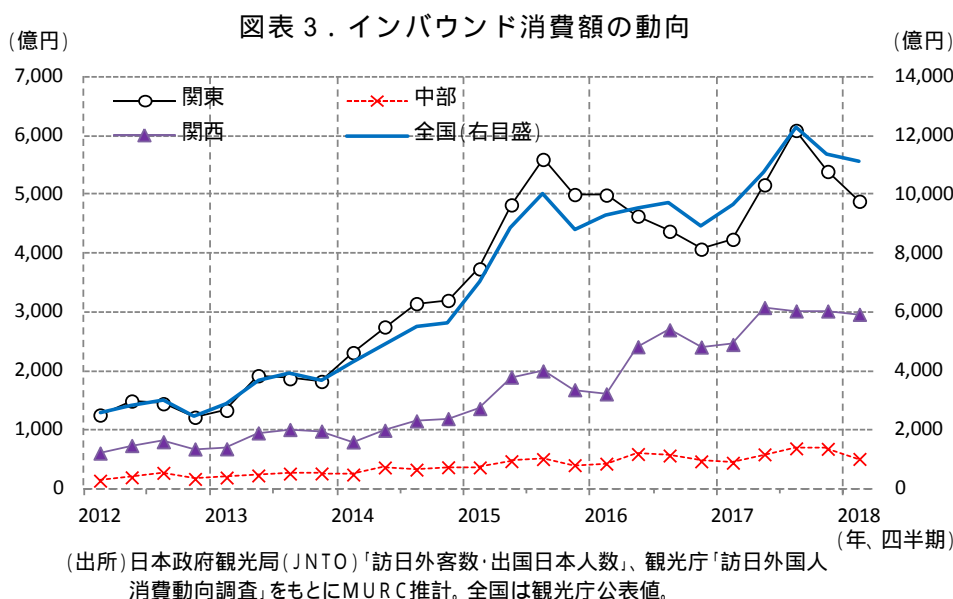
図表2. 訪日外国人数の動向(県別)

(単位)	2017年								2018年	
	1-3月期		4-6月期		7-9月期		10-12月期		1-3月期	
	実数 (万人)	前年比 (%)	実数 (万人)	前年比 (%)	実数 (万人)	前年比 (%)	実数 (万人)	前年比 (%)	実数 (万人)	前年比 (%)
愛知県	55.7	7.4	65.0	0.6	74.7	19.6	60.0	21.3	52.7	-5.4
岐阜県	15.8	5.7	25.3	8.9	13.1	-4.9	17.2	4.5	20.6	30.4
三重県	4.0	5.3	4.6	-14.4	5.0	25.7	3.7	-22.3	3.7	-7.5
東海3県		6.9		1.8		15.7		14.4		2.0
静岡県	28.1	-4.8	33.2	-5.6	41.8	8.2	31.5	17.2	24.7	-12.2
福井県	1.7	45.1	1.0	2.9	1.2	6.1	0.7	-23.8	0.9	-45.6
中部5県	82	4.4	104	0.4	112	11.3	94	17.0	80	-2.5
富山県	3.2	75.9	14.3	-5.9	4.5	7.1	8.2	36.3	3.6	14.1
石川県	10.7	27.5	21.9	14.9	10.6	8.3	12.0	8.5	12.1	13.0
長野県	25.5	40.5	23.9	13.5	12.5	13.7	18.7	6.7	23.4	-8.4
滋賀県	3.4	10.9	8.2	99.4	2.7	-28.5	3.7	-2.7	4.6	35.8
昇龍道9県		13.5		5.7		10.0		15.0		-0.9
関東地区	332	8.8	371	13.0	382	12.5	372	18.8	360	8.4
関西地区	252	17.4	327	20.0	324	13.9	304	20.3	287	13.9
全国	654	13.6	722	21.1	744	18.8	749	23.6	762	16.5

(注) 東海3県、昇龍道9県の前年比は各県の延べ人数の単純合計値をもとに算出。

2. インバウンド消費額の動向

地域別のインバウンド消費額は、前節で求めた地域別訪日外国人数と「訪日外国人消費動向調査」にある地域別消費単価（旅行中支出）をもとに推計した¹。2018年1-3月期の中部のインバウンド消費額は506億円と推計され、同期のインバウンド消費額全体（1兆1,121億円）の約5%を占める。県別では、愛知県339.5億円、岐阜府75.7億円、三重県12.8億円、静岡県74.6億円、福井県3.9億円と推計される。尚、「訪日外国人消費動向調査」は、2018年1-3月調査より調査方法の変更があったため、17年10-12月期と18年1-3月期の消費額推計値の前年比は参考程度となることに留意されたい。



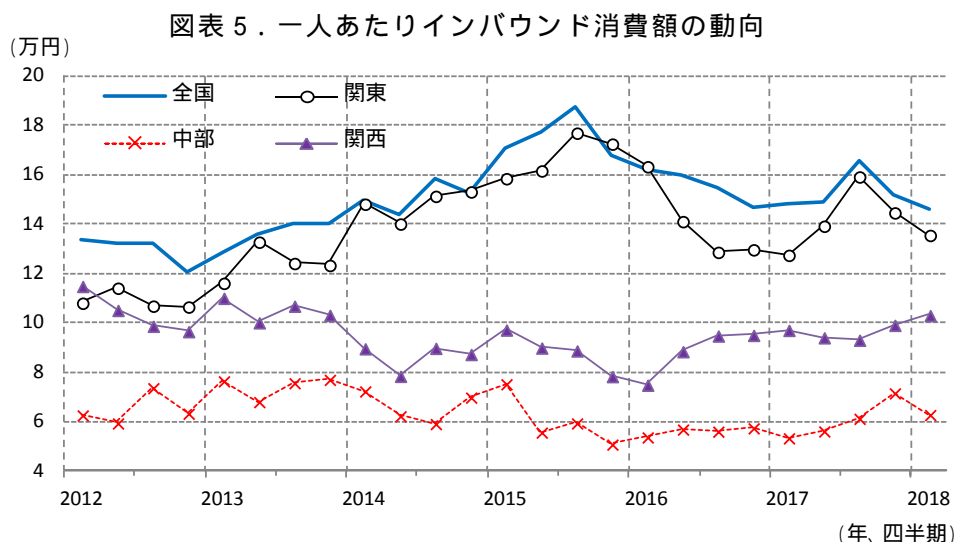
図表4. インバウンド消費額の動向(県別)

(単位)	2017年								2018年	
	1-3月期		4-6月期		7-9月期		10-12月期		1-3月期	
	実数 (億円)	前年比 (%)	実数 (億円)	前年比 (%)	実数 (億円)	前年比 (%)	実数 (億円)	前年比 (%)	実数 (億円)	前年比 (%)
愛知県	298.2	13.9	397.4	10.1	453.1	22.0	500.6	64.5	339.5	13.9
岐阜県	47.8	4.9	42.8	-39.3	38.1	-15.4	44.6	21.5	75.7	58.3
三重県	7.3	-15.9	17.5	-25.9	32.9	116.9	11.0	-52.5	12.8	74.9
東海3県	353	11.8	458	0.6	524	21.4	556	52.8	428	21.1
静岡県	77.8	-25.1	124.2	-2.8	154.9	27.9	118.8	21.0	74.6	-4.1
福井県	10.5	80.7	2.4	-67.2	7.3	-37.6	3.2	4.5	3.9	-63.2
中部5県	442	3.7	584	-1.0	686	21.6	678	45.7	506	14.7
富山県	6.0	-41.8	24.7	-2.3	14.4	-12.2	20.0	76.3	8.2	34.9
石川県	42.1	99.1	56.9	-4.6	43.6	5.8	34.5	-11.9	45.0	6.8
長野県	255.5	18.3	49.0	-17.4	59.4	91.7	68.1	17.4	210.4	-17.7
滋賀県	4.2	-55.0	14.3	57.1	12.0	93.1	7.9	-43.9	16.3	288.9
昇龍道9県	750	9.8	729	-1.9	816	23.7	809	37.5	786	4.9
関東地区	4,242	-15.1	5,169	11.5	6,095	39.2	5,397	32.4	4,890	15.3
関西地区	2,454	52.1	3,082	27.6	3,024	11.9	3,024	25.4	2,967	20.9
全国	9,679	4.0	10,776	13.0	12,306	26.7	11,400	27.8	11,121	14.9

¹ 推計方法の詳細は文末記載の参考文献の補論を参照。

3. 一人あたりインバウンド消費額の動向

インバウンド消費額を訪日外国人数で割った一人あたりインバウンド消費額（消費単価）²については、18年1-3月期の中報は6.3万円と推計される。県別では、愛知県6.4万円、岐阜府3.7万円、三重県3.5万円、静岡県3.0万円、福井県4.1万円となった。前節同様、「訪日外国人消費動向調査」の調査方法の変更により、17年10-12月期と18年1-3月期の消費単価推計値の前年比は参考程度となる。18年1-3月調査より調査サンプル数が大幅に増加したため、消費単価の精度はそれ以前の調査に比べ向上したと考えられる。



(出所) 日本政府観光局(JNTO)「訪日外客数・出国日本人数」、観光庁「訪日外国人消費動向調査」をもとにMURC推計。

図表6. 一人あたりインバウンド消費額の動向（県別）

(単位)	2017年								2018年	
	1-3月期		4-6月期		7-9月期		10-12月期		1-3月期	
	実数 (万円)	前年比 (%)	実数 (万円)	前年比 (%)	実数 (万円)	前年比 (%)	実数 (万円)	前年比 (%)	実数 (万円)	前年比 (%)
愛知県	5.4	6.1	6.1	9.4	6.1	2.0	8.3	35.6	6.4	20.4
岐阜県	3.0	-0.8	1.7	-44.2	2.9	-11.0	2.6	16.3	3.7	21.3
三重県	1.8	-20.2	3.8	-13.5	6.6	72.6	2.9	-38.8	3.5	89.2
東海3県		4.5		-1.2		4.9		33.5		18.8
静岡県	2.8	-21.3	3.7	3.0	3.7	18.1	3.8	3.2	3.0	9.2
福井県	6.0	24.5	2.3	-68.1	6.0	-41.2	4.3	37.2	4.1	-32.3
中部5県	5.4	-0.7	5.6	-1.3	6.2	9.2	7.2	24.6	6.3	17.6
富山県	1.9	-66.9	1.7	3.8	3.2	-18.0	2.4	29.4	2.3	18.3
石川県	3.9	56.2	2.6	-17.0	4.1	-2.3	2.9	-18.8	3.7	-5.5
長野県	10.0	-15.8	2.1	-27.2	4.8	68.6	3.6	10.1	9.0	-10.1
滋賀県	1.2	-59.4	1.7	-21.2	4.4	170.0	2.1	-42.3	3.6	186.3
昇龍道9県		-3.2		-7.2		12.5		19.6		5.9
関東地区	12.8	-21.9	13.9	-1.3	15.9	23.7	14.5	11.5	13.6	6.3
関西地区	9.7	29.5	9.4	6.3	9.3	-1.8	9.9	4.3	10.3	6.1
全国	14.8	-8.5	14.9	-6.7	16.5	6.6	15.2	3.4	14.6	-1.4

(注) 東海3県、昇龍道9県の前年比はインバウンド消費額を当該地域内の各県の延べ人数の単純合計値で割った値をもとに算出。

² 地域別消費単価はパッケージツアーに含まれる国内収入分を加味したMURCの推計値であり、観光庁「外国人消費動向調査」の消費単価とは異なる。

(参考文献)

- ・ 藤田隼平、塚田裕昭、杉本宗之（2015）「中部地域におけるインバウンド消費の現状と今後の見通し」
三菱UFJリサーチ&コンサルティング調査レポート

- ご利用に際して -

- 本資料は、信頼できると思われる各種データに基づいて作成されていますが、当社はその正確性、完全性を保証するものではありません。
- また、本資料は、執筆者の見解に基づき作成されたものであり、当社の統一した見解を示すものではありません。
- 本資料に基づくお客様の決定、行為、及びその結果について、当社は一切の責任を負いません。ご利用にあたっては、お客様ご自身でご判断くださいますようお願い申し上げます。
- 本資料は、著作物であり、著作権法に基づき保護されています。著作権法の定めに従い、引用する際は、必ず出所：三菱UFJリサーチ&コンサルティングと明記してください。
- 本資料の全文または一部を転載・複製する際は著作権者の許諾が必要ですので、当社までご連絡下さい。